



# ひなどり

園だより 11月号  
平成29年10月27日  
新潟市立新津第三幼稚園

## 手をかけすぎると、うまくいかない？

園長 間嶋 哲

私が、二十代半ばの頃のことです。当時勤めていた小学校に、花屋さんが花売りにこれらしました。あまり花には興味がなかったものの、せっかくだからとリンドウを一鉢購入し、職員室の机の上に置いておきました。しばらくすると、他の先生の花は何となく元気がなくなっていくのに、私のリンドウだけは元気に咲き続けました。決して、毎日の水をきちんとあげていたわけでもなく、ただ普通に仕事の合間に眺めていただけなのに、なぜか私のリンドウだけは調子がいいのです。

あとで、その花屋さんにうかがうと、次のようなことを、おっしゃってくれました。

「あまり手をかけすぎると、意外と駄目になるのも早いものですよ。」

私が良かったのは、きっとあまり手をかけすぎず、「そこそこの世話」をしたからなのだと分かりました。その後、その花屋さんは、こうもおっしゃいました。

「植物だって人間と同じですよ。……人間も手をかけられすぎると、すぐに駄目になりますから。」  
含蓄のある言葉でした。

旧日本軍の連合艦隊司令長官だった山本五十六は、映画『映画聯合艦隊司令長官 山本五十六ー太平洋戦争 70 年目の真実』のモデルにもなり、新潟県長岡市が生んだ偉人です。この人には多くの名言があります。有名な名言は、つぎのものです。

やってみせ 言って聞かせて させてみせ ほめてやらねば 人は動かじ

実は、この言葉には、次のような続きがあります。

話し合い 耳を傾け 承認し 任せてやらねば 人は育たず

やっている 姿を感謝で見守って 信頼せねば 人は実らず

すべて先回りして親が何でもやってあげるような「手をかけすぎると育て方」は、我が子を真の意味で信頼し任せていないことの現れかもしれません。みなさんは、いかがでしょうか。

先日、あやめ組のみなさんが、作品展での出し物練習として小学校の体育館にやってきました。その後、校長室前を通ったので、校長室に案内しました。「そこそこの世話」に徹し、ある程度ほうっておくと、校長室にある様々なモノを見たり触ったりしながら、ごく自然に、自分の気付きを語ってくれました。一年生になると学校探検と称して校内をまわります。その際は校長室に寄ることもありますが、半年早い校長室訪問となりました。当園では、幼小連携が自然にできます。

